

# 被爆者援護充実求める

## 民主の議員懇、決議を採択

民主党の被爆者問題議員懇談会（高木義明会長）は9日、原爆症認定訴訟の解決など被爆者援護策の充実に、被爆70年の国会決議実現への足掛かりにしたい考えだ。

決議では、被爆の実態を広く伝えるため、世界の政治指導者や若者による被爆地訪問を働き掛ける必要性も強調した。国会内で開いた会合では、被爆者の平均年齢が80歳を超えたことを踏まえ「被爆者の救済は今やっておかなければならぬ課題だ」との声が上がった。

近く民主党本部に提出し、党全体として取り組むよう要請する。事務局長の森本真治氏（参院広島）は「懇談会のメンバーも徐々に増えてきた。国会決議への機運をさらに盛り上げた」と述べた。（藤村潤平）

民主党の被爆者問題議員懇談会（高木義明会長）は9日、原爆症認定訴訟の解決など被爆者援護策の充実に、被爆70年の国会決議実現への足掛かりにしたい考えだ。